

◆ 活動状況

① 学 校 名	志 村 第 二 中 学 校		
② 本 部 名	志村第二中学校支援地域本部	③開始年度	平成 29 年度
④コーディネーター数	3 人	⑤ ボ ラ ン テ ィ ア 年 間 予 定 実 人 数	50 人
⑥ひ と こ と ア ピ ー ル	志二中のキャッチフレーズは「 夢と希望を実現する学校 」生徒の夢と希望を応援中！		
主な活動内容 ■：活動継続中 ◆：活動予定	【学習支援】 ■授業支援 ■放課後学習支援 ◆体験学習支援 ■キャリア教育 【環境整備】 ■図書館整備 ■花壇の整備 【その他】 ■クラブ・部活動支援 ■学校行事支援 ◆小中連携		

♥イチ押し活動

花壇の整備



放課後
図書室開室



部活動支援



放課後学習支援
授業支援



花壇の整備は季節ごとに行っています。放課後の図書室開室は週に1日実施しています。
部活動支援は現在1部活を支援中、今後拡充します。授業支援・放課後学習支援は年度内に始めます。

□これからの取組予定

- *今年度も、11月に、3年生のグループ面接練習を地域の方々の協力を得て行います。
- *近隣小学校の行事や花壇の整備を中学生が手伝うことを双方のコーディネーターを中心に計画中です。

◇学校からのメッセージ

3年目となり、今年度は活動の種類を増やし、より活発な組織にしていきたいと
思います。地域の皆様や保護者の皆様のご支援・ご協力をお待ちしております。

◆ 活動状況

① 学 校 名	志 村 第 三 中 学 校		
② 本 部 名	志村第三中学校支援地域本部	③開始年度	平成 26 年度
④コーディネーター数	3 人	⑤ ボ ラ ン テ ィ ア 年 間 予 定 実 人 数	30 人
⑥ひ と こ と ア ピ ー ル	地域活動が盛んだと言われる蓮根坂下地区の中学校として支援継続と関係強化		
主な活動内容 ■:活動継続中 ◆:活動予定	【学習支援】 ◆放課後学習支援 【環境整備】 ◆花壇の整備 【その他】 ■学校行事支援		

♥イチ押し活動

- ・年度末に行われる卒業生を送る餅つき大会



□これからの取組予定

- ・花壇の整備など落ち着いた学校環境を継続するため、地域の協力者へのヒアリング中
- ・中断している試験前自主学習支援の復活
- ・文化祭時の来校者の自転車整備及び校内外の警備



◇学校からのメッセージ

- ・運動会では、来校者の自転車整備及び校内の警備等を行っていただきました。
- ・今後は花壇の整備にも力を入れていただく予定です。
- ・いろいろな場面で地域、保護者、学校との連携の橋渡しを積極的に行っていただいています。

◆ 活動状況

① 学 校 名	志 村 第 四 中 学 校		
② 本 部 名	志村第四中学校学校支援地域本部		③ 開始年度 平成 30 年度
④ コーディネーター数	4 人	⑤ ボ ラ ン テ ィ ア 年 間 予 定 実 人 数	350 人
⑥ ひ と こ と ア ピ ー ル	小中一貫教育 9年間教育 学力向上 地域・企業・大学等の教育力を生かす。		
主な活動内容 ■：活動継続中 ◆：活動予定	【学習支援】 ■授業支援 ■スポーツテスト支援 ■放課後学習支援 ■体験学習支援 ■ゲストティーチャー ■キャリア教育 ■その他(研究実践報告・土曜授業公開 受付・誘導等) 【環境整備】 ■図書館整備 ■グリーンボランティア ■花壇の整備 ■美化活動支援 ■緑のカーテン支援 ■草木の管理 ■その他(マルチパーパス：多目的スペースの改修工事中の対応・校舎内の環境整備) 【見守り活動】 ■その他(引き渡し訓練) 【その他】 ■クラブ・部活動支援 ■学校行事支援 ■小中連携		

□イチ押し活動

学校支援地域本部事業“絆を深め、可能性を見出す地域教育基盤の確立”

<連携部門>

■**学校教育部門**：授業・学習支援・教職員研修・キャリア教育・職場体験事業

■**放課後対策部門**：子どもの居場所づくり

→学力向上・部活動の異年齢集団による社会性の育成

■**読書推進部門**：多目的室の活用・読書スペースの設置・学級文庫・学校図書館整備

→志村図書館との連携：1年生対象ブックトーク等

■**学校環境部門**：学校農園・花壇・緑のカーテン等の整備

■**地域事業部門**：地域合同行事・地区運動会・少年野球志村坂下地区大会

トレイン祭り・蓮根福祉園れんこん祭り・環境美化活動・さんま祭り

■**安心安全部門**：防災・避難訓練・引き取り訓練

地域事業：トレイン祭り



地域事業：さんま祭り



学習支援：ソーラン節教授



□コーディネーターの役割、活動上の工夫や配慮等

■以下の効果を期待し活動目標とする。

学校にとって

- 生徒の成長を地域とともに見守り育む学校づくりができる
- 地域の一員としての学校の役割が明確になる
- 多様な教育活動が展開できる
- 地域の教育力を生かして教育効果を高めることができる
- 地域と学校の相互理解がさらに深まる

生徒にとって

- 多様な体験活動と出会い、コミュニケーション力や社会性が身に付く
- ボランティア活動への理解が深まり、社会貢献や思いやりや優しさ、豊かな情操等、心身の健全な育ちが期待される
- 学びの面白さを体感でき、自他のよさを見出すことができる

地域にとって

- 学校への参画意識や教育への理解が深まる
- 専門的な知識や技能を「社会貢献」という形で示すことができる
- ボランティア活動を通して新しい人間関係ができ、地域のつながりや連携をさらに高める機会となる

□これからの取組予定

■**学校教育部門** 各種作品応募に伴う学習支援：いたばしポーロニヤ子ども絵本館[英語]・作詞家合唱指導[音楽]

キャリア教育講演会講師→生け花・茶道・着付けの日本文化体験・平和教育・オリンピック・パラリンピック教育・福祉体験：ボランティア市民活動学習推進センターいたばし・落語家三遊亭わん丈様[国語]

2学年 職場体験事業所→7月実施：実績：平成29年度49事業所：123名在籍・平成30年度52事業所：156名在籍・令和元年度83事業所：178名在籍

保幼小連携・小中一貫教育：“FLC学びのエリア”出前授業・部活動体験・保護者と児童説明会・保育園との連携

■**放課後対策部門**→部活動支援・早朝学習や放課後補習・子どもの居場所づくり：部活動の活性化：部活動指導補助員・部活動指導ボランティア：保護者・卒業生

部活動の活動場所の確保：体育館改修に伴う運動部・吹奏楽部→板橋区立室内運動場・志村坂下小学校：体育館

■**読書推進部門**→多目的室の活用・読書スペースの設置・学級文庫・学校図書館整備

■**学校環境部門**→栽培・花壇・緑のカーテン・学校校庭→グリーンボランティア・活動支援・校舎内の壁面塗装等の整備→塗装ボランティア：東京マイスター講師招致・企業等との連携：ICT機器の導入

■**地域事業部門**→吹奏楽部の演奏派遣：トレイン祭り・れんこん祭り・さんま祭り

■**安心安全部門**→防災引き取り訓練：震度5弱想定 保護者255名参加<成果と感想>円滑な進行・参加者数の増加

◇学校からのメッセージ

今年度の取組から、学校は地域の皆様とともに「板橋区コミュニティ・スクールにつなげる！」をめざす。

志村第四中学校は、FLC学びのエリア(fight learn clean)として、志村小学校・志村坂下小学校・北前野小学校・緑小学校の4校と志村第四中学校とで、小中一貫教育の取組を行っています。特に学習支援部門では、学校が地域の一員として、小中9年間教育を見通して、それぞれの授業に参画したり、授業づくりの研修の機会を共有したりします。4小学校の小中一貫教育研究校として小中5校のめざす子ども像を、『〇よく考え進んで学ぶ子ども 〇心豊かで思いやりのある子ども 〇ねばり強くたくましい子ども』としました。地域教育基盤の要となるよう推進します。

浮世絵美術館の原画鑑賞と講話



職場体験



児童対象部活動体験



3・11三陸沖復興支援



着付け教室



◆ 活動状況

① 学 校 名	志 村 第 五 中 学 校		
② 本 部 名	志村第五中学校支援地域本部	③開始年度	平成 29 年度
④コーディネーター数	2 人	⑤ ボ ラ ン テ ィ ア 年 間 予 定 実 人 数	30 人
⑥ひ と こ と ア ピ ー ル	心あたたかい地域の方々と手を携えて、子どもたちのために！		
主な活動内容 ■：活動継続中 ◆：活動予定	【学習支援】 ■ その他(漢字検定監督ボランティア・学力テスト監督・申込受付ボランティア) 【環境整備】 ■ 美化活動支援 ■ 緑のカーテン支援 ■ 草木の管理 ◆ その他(マーマレードづくり)		

♥イチ押し活動

植栽講演会とチューリップの植栽

平成30年10月31日(水)

学校支援地域本部が発足して2年目は、昨年に引き続き、新入生を歓迎するために、校門の両側に満開のチューリップを咲かせる試みを行いました。昨年度は暖冬の影響を受け、卒業式前に開花してしまい、入学式本番には数本しか残っていませんでした。何か対策はないものかと、再び講演会を開催しました。講師の松澤様をお招きし、チューリップやユリなどの球根の話、東日本大震災から始まったひまわりプロジェクトについて、さらにチューリップの球根の植え方など、わかりやすく御指導いただきました。今回昨年より10日ほど遅らせての開催となり、講演会終了後、用意したプランターに球根を植え付けました。地域ボランティアの方々、生徒、先生を含めて40名以上という予想外の多人数になり、嬉しい悲鳴でした。暖冬との予想の中で、プランターの位置を変えたりして、入学式に満開のチューリップを見せることができました。地域の方々と生徒たちの思いが、志五中の良き伝統となりますよう、毎年続けていきたいと願っております。



□これからの取組予定

チューリップの植栽と講演会

落ち葉掃きボランティア

堆肥づくり(平成30年度新規事業)

学力テスト監督・申込受付ボランティア(平成30年度新規事業)

漢字検定監督ボランティア(平成30年度新規事業)



◇学校からのメッセージ

志村第五中学校の地域は、まさに人材の宝庫です。学校にも協力的で、様々な才能をおもちの方がいつも志村第五中学校を応援してください。学校支援地域本部の事業として、これからも多くの支援をいただきながら、本校を盛り立てていきたいと考えています。今後とも御協力よろしくお願いいたします。

◆ 活動状況

① 学 校 名	西 台 中 学 校		
② 本 部 名	NDゆかいななかまたち		③開始年度 平成 29 年度
④コーディネーター数	5 人	⑤ ボ ラ ン テ ィ ア 年 間 予 定 実 人 数	30 人
⑥ひ と こ と ア ピ ー ル	「無理なく、楽しく、イキイキと！」これがND原動力。		
主な活動内容 ■:活動継続中 ◆:活動予定	【学習支援】 ■授業支援 ■読み聞かせ ■スポーツテスト支援 ■放課後学習教室支援 ■体験学習支援 ■英語検定運営支援 ◆ゲストティーチャー ◆キャリア教育 【環境整備】 ■図書館整備 ■ガラス飛散防止フィルム貼り ◆花壇の整備 ◆美化活動支援 ■緑のカーテン支援 ■草木の管理 【見守り活動】 ■安全ボランティア ■スクールガード ■子ども見守り隊 ◆1年下校付き添い 【その他】 ■学校公開受付業務支援 ◆クラブ・部活動支援 ◆学校行事支援 ◆小中一貫		

♥イチ押し活動

特出したものはないが、「みんなでやる！」「たのしくやる！」活動を広げていきたい。

□これからの取組予定

- ・放課後、長期休業期間における補習教室等の補助
- ・総合的な学習の時間におけるゲストティーチャーの招聘
- ・さくら草祭りに向けて、鉢植え栽培のボランティア
- ・学校緑化計画の推進
- ・地域清掃ボランティアに参加すること
- ・学校支援ボランティア募集のチラシ作成及び配布



コーディネーター控室

生徒出欠黒板作成



ガラス飛散防止フィルム貼り

◇学校からのメッセージ

- ・同窓会会長、元PTA会長などを中心に「無理なく楽しく」をモットーに、できるときにできる人が関わっていく活動をしていく
- ・生徒へのバックアップでは放課後学習支援のほかに、学校を盛り上げていく活動、英検、漢検、数検の支援、職場体験先の連絡調整などの取組を検討している

◆ 活動状況

① 学 校 名	中 台 中 学 校		
② 本 部 名	中台中学校 学校支援地域本部	③開始年度	平成 27 年度
④コーディネーター数	2 人	⑤ ボ ラ ン テ ィ ア 年 間 予 定 実 人 数	350 人
⑥ひ と こ と ア ピ ー ル	地域コミュニティと共に新たなチャレンジに取り組みます。		

主な活動内容

■:活動継続中
◆:活動予定

【学習支援】

■授業支援 ■読み聞かせ ■放課後学習支援
■体験学習支援 ■ゲストティーチャー ■キャリア教育
■その他(研究実践報告会 受付・誘導等支援)

【環境整備】

■図書館整備 ■グリーンボランティア ■花壇の整備
■美化活動支援 ■緑のカーテン支援 ■草木の管理
■その他(ICT機器の活用:エプソン、XYZ等)

【見守り活動】

■安全ボランティア
■その他(引き渡し訓練、地域防災)

【その他】

■クラブ・部活動支援 ■学校行事支援 ■小中連携

♥イチ押し活動

○教科センター方式の活用

〔授業研究〕 指導力向上推進校として研究を推進していくにあたり、大学との連携によって授業革新に向けた取り組みの評価や助言、情報提供をいただいている。
(福井大学大学院、東京女子体育大学、日本女子大学、大東文化大学他)

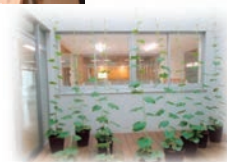
〔ICT機器活用〕 ICT機器の活用による「分かる できる 楽しい」授業を実現するために、企業との連携によって機器の整備・管理・活用方法の提案等の協働に取り組んでいる。
(エプソン、XYZ、レノボ、アーテック、JMC他)

〔教材教具の支援〕 生徒の主体的な学びの場を確保するために、地域との連携によって授業や教科メディアスペースに係る教材教具、資料等の物品を充実させている。
(小泉石材、トキタ種苗株式会社他)



○学校支援ボランティアの組織化

〔図書室開放事業〕 コミュニティの学校という位置づけを推進するために、人材募集をシステム化し、関与しやすい体制を構築している。
＜土曜午前の図書室開放で受付・監督を担当＞



□これからの取組予定

○教育活動支援

〔授業支援〕 ・専門家(地域農家)を招聘し、本物の技術に触れる機会を設定します。
・実技教科の授業でサポートしてくれる人材を地域に要請します。

〔教科メディアスペース〕 ・生徒の自主的な学びを支援します。(教材・教具の充実)
・資料や機材の整備・拡充のため、地域教育資源の情報を収集します。

〔放課後学習指導〕 ・さくら草塾の指導員として、大学生やネイティブスピーカーに協力を要請し、運営していきます。

〔部活動支援〕 ・外部指導コーチを依頼し、連絡調整を図ります。(プリムラ)

○小中一貫教育 ・さくら草学びのエリアの3校で、児童会・生徒会、PTA、地域防災等合同研修会を実施し、コミュニティ・スクールへの準備を推進します。

◇学校からのメッセージ

教科センター方式を導入した新校舎が落成して4年目を迎え、地域に開かれた学校、地域と共に歩む学校を目指して学校の果たす役割の可能性を日々追求しています。地域の人が気軽に学校へ足を運び、教育活動に参画できるように環境を整えつつあります。

部活動の自主公演への招待や図書室開放はその接続の機会として、地域との窓口になり、たしかな手ごたえを感じています。

学校が地域に根差したコミュニティ・スクールとして機能できるよう、コーディネーター、学校地域支援本部は様々なチャレンジをしていきます。

